

のびゆく東丘

校訓：人を大切に 物を大切に 夢を大切に

名古屋市立東丘小学校

朝夕がずいぶん涼しくなってきました。日差しもやわらぎ、秋らしくなっています。2学期に入って1か月が過ぎようとしていますが、どの児童も運動に学習に一生懸命な姿が見られ安心していきます。

さて、7月に前期学校評価を、9月に前期学校関係者評価委員会を実施しました。結果の概要といただいたご意見を基に検討した結果をお知らせいたします。詳細は学校ホームページをご覧ください。

1 人を大切に (%は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えた割合)

質問	項目	教職員	児童	保護者
1	教育相談は有効に行われている。 (児童回答...困ったことがある:17.3% その際、先生に相談する:64.6%)	80.0%		89.5%
2	友達や異学年の子どもとの交流を通し、相手を思いやる気持ちを育てるような集会や行事が計画されている。	86.7%	92.7%	95.0%
3	通学分団指導は適切に行われている。	90.0%	90.1%	96.1%
4	子どもが安全で健康な生活ができるような指導がなされている。	86.7%	93.1%	95.0%

【通学路について】

通学路の混雑状況は喫緊の課題であると考えています。特に雨天時は傘を差すため、列が長くなり、横断歩道の前に長い列ができます。また、交通量が多く歩道も未整備なため、学校は登下校の状況の写真をもとに行政に改善要望を出していますが、実現は困難との回答しか得られていません。現在の在籍児童数並びに今後の増加予測から通学路を見直したいのですが、そのためには地域住民の合意が必要です。登下校時に見守りを行うとしても、どのように人を確保するかは課題です。学校は今後も行政へ要望を出し続けていきますので、地域からも行政に向けた後押しの声があるとありがたいと思います。

2 ものを大切に

5	自分の持ち物や、みんなで使うものを大切にしようとする指導がされている。	80.0%	96.2%	85.7%
6	清掃活動や花の栽培を通し校内の環境をきれいにしようとする指導がされている。	86.7%	95.6%	92.1%

【落とし物について】

落とし物を減らすために、ご家庭での記名をお願いしたいと思います。高学年になるにつれ、持ち物への記名が減る傾向にありますが、名前があることで手元に戻ることが多いです。また、落とし物コーナーに届いた物が置かれ続ける状況を改善するためにも、行事や参観日には保護者の方に見ていただく機会も設けていきたいと考えています。学校でも、整理整頓を多くの職員で声掛けしていくことで、乱雑なために紛失してしまうという状況を防いでいきたいと考えています。

【清掃について】

昨年度より改善した清掃分担箇所があり、意識を高めて指導した結果が現れています。担任だけでなく多くの職員が目配りながら声を掛け合い、不十分な箇所の改善につなげられるよう努めていきたいと思っています。

3 夢を大切に

7	学習内容がよく分かるように指導を工夫している。	90.0%	94.8%	91.3%
8	学級の係活動やクラブ活動、運動会などの行事に、楽しく取り組めるよう指導を工夫している。	86.7%	97.0%	95.6%
9	読書活動を通して豊かな心をもった子どもを育てようと努めている。	76.7%	92.0%	91.7%

【学習面】

課題や理解の不十分な内容に、自分ではなかなか取り組めなかつたり分からなくて困っていたりする場合には、質問をしにきてもらえたらと思います。いつでも質問しにきて構わないことを、クラスでも伝えていきますが、ご家庭でも、分からないときや困ったときは、質問に行くよう促していただけたらと思います。

4 その他

10	仲間との対話を大切にしたり、自ら考え判断し、表現するような教科指導をしている。	90.0%	92.5%	
11	児童が主体的に学習に取り組めるように授業を工夫している。	90.0%		
12	学校は、「学校だより」「学年だより」などを通して、教育方針や活動の様子を適切に保護者へ知らせている。	90.0%		95.7%
13	学校は、授業や学校の生活の様子を参観する機会を適切に設けている。	90.0%		96.8%

年度の早い段階で担任と家庭がつながることで、2学期以降も何かあれば話がしやすくなると思っています。2学期以降に懇談会を設定していませんが、希望があれば個別に相談の上、実施いたします。家庭から話したいことや聞きたいことがあれば、気軽に相談をしていただければと思います。

行事の日程や運用面、内容面の変更は、児童・保護者・職員の学校評価アンケートの内容を基にしたものです。例えば、運動会のお弁当を親子でという声を複数いただきましたが、児童数の増加に伴い場所の確保が困難な状況です。なによりも、校舎内で昼休憩をとった結果、午後に体調不良を訴える児童が減少したという効果が現れています。子どもたちによりよい教育を実施するためにアンケートの声を大切にしながら職員で考えていきたいと思っています。

児童数は今後も増加傾向にあり、これまで行ってきたことも物理的に困難な状況が想定されます。それに伴う変更についてもご理解ください。

5 学校関係者評価委員会での意見

通学路の混雑状況は心配をしています。特に雨天時は交通量も多く、時間規制の表示も目に入らない車両が抜け道に使うこともあります。安全な通学路実現のため、対応策を検討し学校とともに地域からの声を行政へ伝えていければと思います。通学路の変更によって、混雑状況の緩和が図れるのなら検討できるとよいと思います。

1学期、散歩のように通学路を歩き、上級生を困らせていた1年生が、きちんと分団で登校できる様子に成長を感じます。学級でもスピーチなどを行いコミュニケーション力を高めようとしていると聞き、良い取り組みをしていると感じています。中津川野外学習が終わった後、子どもが「帰りたくなかった」と充実した三日間の様子を話してくれました。先生方の指導に感謝しています。

保護者から様々な声が寄せられていますが、学校も保護者も子どもの成長を願う思いは同じだと思います。そのための見方が違うだけで、どれも正しい考えだと思います。みんなが同じ意見ではものごとは進んでいきません。様々な意見を吟味した上で、子どもの成長のために学校が判断し、取り組んでいただければと考えます。

今後も保護者・地域の方々からいただいたご意見をもとに、よりより学校を目指していきたいと思っております。後期にも学校評価アンケートを実施いたします。お気付きのことがありましたら、お知らせください。よろしくお願いたします。